

楽園だより

今までの暮らしが変わる。玄関から、ほっとする家。

2025年 7月1日

No.85

『築28年 二階建て住宅を断熱リノベーション工事』 (多治見市 K様邸)



After

LDK吹抜け



Before

二間続きの和室を
勾配天井の
LDKにしました。



お施主様の声

「実家のお家を引き継いで
リフォームして住みたいんだ...」

主人に自分の思いを伝えたことから私たちの
リフォーム大作戦は始まりました。
早速フルリフォームの本や、ネットで色々調べて
幾つかのハウスメーカーやリフォーム会社に話を
聞きに行くことに。色々な会社から話を聞きました
が実家のリノベーションって、意外とむずかしい...

実家をリノベーションすることになって思ったの
は、「壊せるところ」と「壊せないところ」がけっ
こうあるってこと。構造の問題もあるし、思い出
が詰まってる簡単には壊せない部分も沢山あり
ます。でも、だからこそ全部を新しくするんじゃ
なくて、「今あるものをどう活かすか」が大事な
んだと気づきました。古いけど味のある梁とか、
ずっと使ってきた窓ガラスとか、今は珍しい網代
の天井とか...そういうのを残しながら、今の暮ら
しにフィットする形にアップデートしていく。楽園

住宅さんはそんな提案をしてくれました。
いよいよリノベーション工事スタート! 見どころの
ひとつは、立派な丸太の梁を活かした開放的な
LDK。その梁を囲う下地処理は、想像以上に繊
細で難しい作業でしたが、現場では丁寧に確
かな技が光っていて、見ていて本当に頼もしく
なりました。毎日少しずつ、でも確実に形になっ
ていく新しい我が家を見に行くことが本当に楽し
みでした。

実際にクロス貼りを体験させてもらった一枚
板を選ばせてもらったり...少しだけ家作りに
携われたことも思い出のひとつです!
わたしが小さい頃から住んでいた家が、今の時
代に合った、私たち夫婦に合った家へと生まれ
変わったことが本当に嬉しくて...両親から受け
継いだこの家を、より大切にしていきたいと思
いました。

そんな素敵なお家にリノベーションしてくれた楽
園住宅の皆様、本当にありがとうございました!!



Before

外観



After

担当者から 設計: 梅本

初めてお会いしてお話を伺った時、ご夫婦とご両親
の仲の良い関係がすぐにわかりました。

建物にはとても立派な和室があり、小屋裏には大
きな梁丸太が何本も。家族団楽がピッタリなご家族が
楽しく過ごすなら、リビングはこの和室だなと、二間
続きの和室をLDKとし勾配天井にすることで、梁丸
太も見え広がりのあるLDKプランをご提案しました。
また、木がお好きという事で、カウンター、TV台、ベン
チにダイニングテーブル等、色んな所に無垢の木を
使い、木の市場にて一枚板選びにもご参加いた
だきました。私も色んな場面でたくさんお客様と関わる
ことができ、一緒になって家造りが出来た事、本当に
嬉しいです。

こんなお客様を増やしていきたいです。



Before

断熱開口部換気仕様書(床面積147.07㎡)

天井	充填	高性能グラスウール16k	200mm
	付加	グラスウールボード32k	60mm
外壁	充填	高性能グラスウール16k	105mm
床		押出法ポリスチレンフォーム 30Kg/㎡	90mm
開口部		樹脂サッシ+Low-Eペアガラス 南面:断熱 他面:遮熱	
換気		第3種	



断熱施工中



After

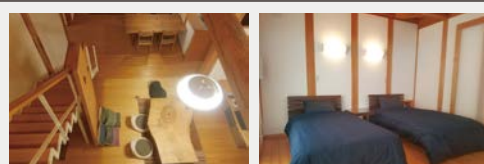
2Fフリースペース

■建設地 多治見市
断熱性能及び年間暖房エネルギー消費量

Q値 熱損失係数 / 総熱損失係数	1.54W/mk / 240.4W/mk
Ua値 外皮平均熱貫流率	0.45W/mk
年間暖房用 消費エネルギー	電気(効率3.0) 2093kWh 電気代 73,255円



宿泊体験モデルハウスのご案内 年中快適



住所: 恵那市長島町正家一丁目11番地1

長く暮らす「家」だからこそ 住み心地を体感しよう!
無料宿泊体験できます!

楽園
住宅

『人と環境に優しい
家づくりをする工務店』

恵那市長島町正家一丁目5番地5 TEL 0573-26-5122

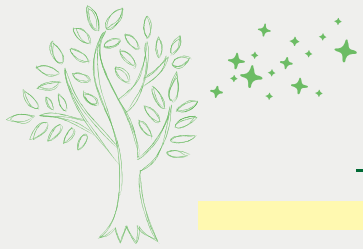


公式LINE
はじめました!

@azj8127w



ご意見・ご質問ございましたら、
なんでもお問い合わせください!!
また、こんな事本気でやって欲
しい!ということがございましたら
ぜひ、リクエストお願いいたし
ます。



9月に個人旅行でイギリスへ行く機会がありましたので
見て来た事を5回に分けて報告します。

ブレナム宮殿を出てM40・M25・M4を通り戻る。イギリスの高速道路には路線番号の先頭にMが付けられているmotorway自動車専用道路の略。ロンドン市内の高速出口近くのパーキングに入り、軽油(Diesel)を給油した。イギリスではガソリンスタンドをPetrol Stationと呼ぶ。軽油28.7Lで1Lが1.579GBP(315.8円)であった。一昨年、イタリアでもガソリンが1L/300円位していたので、日本のガソリンは1L/180円ならまだ安い。参考までにレギュラーガソリンはUnleaded無鉛が一般的に使われている。ヨーロッパではガソリンスタンドにコンビニが併設されていて、給油を先にしてから店の中で給油機のナンバーを申告して後で払うシステムが一般的だ。日本では現金かカードを先に入れてから給油するアメリカのやり方と同じだ。キングスクロスのレンタカー会社へ車を返却して、タクシーでホテルへ帰る。夕食は久しぶりに日本食にしようと、市内にある日本食の店を探して丸亀製麺へ行くことにした。Uberで9.17GBP(1,752円)、日本の店と同じシステムで肉うどん、ビール、唐揚げ、おむすび等を各々頼んで90.25GBP(18,050円、4,512円/人)を支払う。やはり物価は高い。日本の円が本当に弱くなったと改めて実感した。翌日は一緒したご夫妻のリクエストで、世界遺産キュー・ガーデンズ(Kew Gardens)世界最大の植物園へ行く。ここはヒースロー空港の近くにあり、これだけの敷地が都会の真ん中にあるのには驚いた。園には5万種以上の植物が育てられ、700万点以上の植物標本が収蔵されているとのこと。この植物園の正式な名称は、ロイヤル・ボタニック・ガーデンズ・キュー(Royal Botanic Gardens, Kew)、キュー王立植物園へはホテルからUberで28.91GBP(5,464円)メインゲートのヴィクトリア門で車を降りて入場券を買う。



※パームハウス(温室)



※キュー・パレス(1631年築)

キュー・ガーデンズの入場料は高齢者入場券で、1人20GBP/80.0GBP(15,121円、3,780円/人)でキュー・パレスの入場料も含まれている。入場料には学生・高齢者・障害者・地元住民等いろいろな割引条件があるので購入するときに注意が必要。このキューは「私達の未来は植物の役割に掛かっています。植物と菌類は食料、きれいな空気や医薬品等、人類の未来にとって不可欠です。私達は地球上の生物を救うため、生物の多様性の喪失と闘っています。」という理念で運営されていました。この理念を読んだときはイギリスが世界の中心だとの誇りを感じました。園内は広く40分掛けて巡回する乗り物がある。



※散策コースにあったベンチを寄付した人の銘板

試
テス・ガーディナーは喜び共に働き、ここを歩きました。7月22日に亡くなりました。私の妻、私の愛は、永遠に私の心の中にいます。ケフ

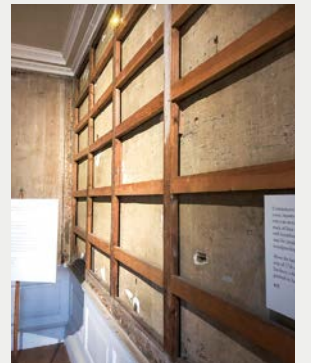


※温室の床暖房

散策コースには、寄付者の思いが書かれた銘板が貼ってあるベンチがあちこちに置かれている。また、園内には大きな温室が3ヶ所あって、それぞれに違った熱帯の植物が植えられていた。植物園は昔、王室の宮殿敷地だったので王室の館が建っている。ジョージ3世とシャーロット王妃の住まいであった。約400年経った建物の内部は一部が下地を見せて構造がどうなっているか見る事ができた。



※壁の下地は木造で土塗壁が見えていた1



※壁の下地2

シロアリや結露による腐朽は大丈夫かと疑問を持ってしまう。当初の建築が1631年と、日本では1600年の関ヶ原の戦いから間もない時期に建てられて、途中メンテナンスはしていると思うが、木造の骨組み、土塗壁、レンガの外壁で良くもっている。日本では猛暑日が続いているが、ここイギリスでは9月なのに日本の11月くらいの気温で、曇りや雨は多いが年間の降水量は日本の半分以下の気候風土が建物の耐久性にも関係していると思う。昼食は園内のザ・オレンジリーというカフェテリアで済ます。89.25GBP(グレートブリテンポンド)日本円で16,869円4,217円/人と1人4~5千円の昼食が安いと感じるようになっている。海外では本格的な日本食のお店を探して入ると料金が高く、お手頃な料金のお店はチェーン店になってしまう。その点、中華料理店は世界中どここの町でもたいてい庶民的なお店がある。イスラエルの小さな田舎町にも中華料理店はあった。いつも海外旅行でパンとチーズに飽きると、日本食のお店より中華料理の店が美味しくてお値打ちでハズレがない。イギリス最後の夕食は、ロンドンで初日に行った中華料理の「麵麵聚道」にてワントンスープ、炒飯、餃子、青島麦酒他を頼み、102.6GBP(20,520円、5,130円/人)でした。



「木KEY Plus」に使われた木が、どれだけCO₂をためているのか？

前回、私たちがつくっている「木KEY Plus(キープラス)」という新しい建物が、木でできていることで、コンクリートの建物よりも2倍以上もCO₂の排出が少なく、地球にやさしいことをお話ししました。今回は、この建物がどれくらいのCO₂をためこんでいるのか、具体的にお伝えします！



木がCO₂をためるって どういふこと？

木は、成長するあいだに光合成をして、空気中のCO₂(二酸化炭素)を取りこみ、自分の中に「炭素」としてためこみます。そのため、木を切って建物に使えば、木の中にためたCO₂はそのまま残ります。これを「CO₂の固定(こてい)」といいます。

木KEY Plusに使われた木の量

この建物はとても広く、たたみ160枚分くらい大きさがあります。使われている木材のほとんどは、わたしたちの住んでいる東濃地方(とうのちほう)のヒノキです。
使われた木の量は、なんと約69立方メートル。これをほかのもので例えると…
●お風呂 約350杯分!
家庭のお風呂の湯船(1杯あたり約200リットル)
●ペットボトル35,000本分(2リットル)
スーパーの棚全部に並べても足りないほど!
これだけたくさんの木でつくられたので、ためこまれているCO₂の量もとても大きいです。

CO₂の固定量はどれくらい？

木KEY PlusがためているCO₂の量は、約47トンです!この47トンがどれくらいすごいのか、わかりやすく他の例と比べてみましょう。
●テニスコート4.7面分の杉の森が1年間で吸収するCO₂と同じくらい
●1つの家庭(家族)が12年間に出すCO₂と同じくらい
●人1人が26年間に出すCO₂と同じくらい
つまり、この1つの建物を木でつくるだけで、これだけたくさんのCO₂を地球から減らすことができるということになります!

地元の木を使うことの大切さ

木KEY Plusに使われているヒノキは、地元・東濃地方の木です。近くの木を使うことで、トラックなどで運ぶ距離も短くなり、運ぶときに出るCO₂も少なくなります。また、地元の森を上手に使うことで、森林の手入れにもなり、新しい木が育ちやすくなります。これは森にとっても、地域にとっても良いことです。

まとめ

木でつくる建物が、地球の未来を変える

木KEY Plusのように、木をたくさん使って建てた建物は、

- 大気中のCO₂をへらす
- 地球温暖化の防止につながる
- 地元の森林を元気にする
- 運ぶときのエネルギーも少なくすむ



といった、たくさんの良いことがあります。この建物が完成することで、私たちは地球の未来にとって、とてもやさしい選択をしていることになります。建物を木でつくることは、ただ「自然っぽくてあたたかい」だけではありません。地球を守るための大きな一歩なんです。これからも、こういった木の建物が増えていけば、みんながもっと気持ちよく、地球にもやさしく暮らしていけるはずですよ。